

はじめに

本年7月7日から9日までの3日間、日本を議長国として北海道洞爺湖サミットが開催されました。環境、アフリカの開発、世界経済などの議題がある中、なかでも世界的に喫緊の課題である地球温暖化問題について2013年以降の「ポスト京都議定書」の枠組みや、2050年までに世界の温室効果ガス排出量を半減することなどの議論が活発に行われました。



この素晴らしい地球を後世に引き継ぐためには、一人ひとりの心掛けや実践の継続、人への思いやりが環境問題解決の基本だと強く感じております。

本市においても、地球温暖化の防止を進めるために、地球温暖化対策地域推進計画を策定し、市民・事業者の皆さんと共に問題解決に向け取り組んでまいります。

さらに市も一事業者として環境配慮への取り組みを率先して進めるため、自治体向けの環境マネジメントシステム『環境自治体スタンダードLASE（ラス・イー）』を導入しました。19年6月には、日常の事務活動における環境配慮を主な内容とした第1ステージに合格し、今後も更に環境配慮への取り組みを進めてまいります。

また、健康に暮らすことのできる良好な生活環境を確保するため、水質改善にも取り組み、19年度末には市内の下水道整備が100%となりました。引き続き、雨水浸透や湧水復活等の取り組みを進め、健全な水循環の確保を目指してまいります。

地域においては、市内6地区の環境市民会議や町会・自治会など、様々な市民組織の方々や事業者により、身近な川や里山などの保全活動、ごみ減量の取り組み、自然体験講座の開催など地域に密着した活動が行われており、今後も更なる環境保全に取り組まれるよう大いに期待しております。

市民・事業者の皆さんとの協働により行われた環境への取り組みをこの「環境白書 2008」にて確認していただき、今後の環境保全への取り組みに役立てていただくことを切に願っております。

平成20年9月

八王子市長

黒須隆一